診　療　案　内

受付時間		診療科目	月	火	水	木	金	土
午前	9：00～12：00	内科	齊田	齊田	齊田	伴	齊田 ６月まで 所長一診	齊田
				串田 第１～第３、第	近藤 （予約）	串田		串田
				近藤（予約） 25日				
		物療	○	○	○	○	○	○
午後	13：30～16：30	内科	齊田	齊田	菅沼 （呼吸器）	伴	休診	休診
			河野					
		物療	○	○	○	○		
		整形外科				本橋		

2021年５月

４月から診療体制が大きく変わりましたのでご注意ください

①河野医師の診療は月曜午後だけとなります。
②水曜午後の診療（呼吸器内科）は高橋医師から菅沼医師に変わっています
③金曜午前の診療は５月末までは所長一人での診療です。
④火曜午前に串田医師の診療が増えます（６月から健診実施日になりますのでご注意ください）
◆５月１日（土）から５日（水）まで休診となります。（５月１日はメーデー参加のため休診です）
◆整形外科は木曜午後だけです。初めての方は15時30分までにお越しください。

増資・新規加入申込書

お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（加入の方のみ）生年月日Ｔ・Ｓ・Ｈ　　年　　月　　日

＿＿＿＿口＿＿＿＿＿＿＿＿円

生協いずみ診療所だより

2021.5.1　発行　NO.126
発行・責任　いずみ診療所　和泉中央南4-19-13
☎802-2416

新型コロナウイルスについて

新型コロナウィルスという未知の感染症をテレビで耳にするようになってから早１年。

どのような症状なのか？外に出たらうつるのか？医療従事者も毎日のように学習をしてきました。感染経路は飛沫感染・接触感染です。症状は様々で、発熱、激しい咳、強い倦怠感、下痢などでした。感染者の中には無症状の方もいます。

今一人一人が出来ることは感染しないよう、又自分が感染しているかもしれないと想定して人にうつさない行動をとることです。以前のいずみ診療所だよりにも掲載しましたがマスクの着用、手指消毒、が基本です。食事のとき会話は極力せず会話をする時はマスクをつけましょう。外出先でもアルコール手指消毒をできる限りしましょう。

私はこの基本を守り、戸塚病院時代は新型コロナウィルス感染症の方の対応させていただいていました。季節の変わり目です。風邪症状の方は戸塚病院に直接電話で相談して頂き受診予約をお勧めします。（師長　小野幸子）

現在、いずみ診療所では発熱症状のある方の診療を行っておりませんので、風邪症状のある方は通院中の方でも事前に電話連絡をいただくか、戸塚病院へのご相談をお願いいたします。先月号までお知らせしていました神奈川県発熱等診療予約センターは３月31日で終了となりました。横浜市への問い合わせ電話番号は「横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター045-550-5530（９時～21時）」です。

今回の記事はすべて４月 15 日現在のものです

新型コロナウイルスの予防接種について

この記事は横浜市のホームページ（4 月 9 日更新）から抜粋しまとめたものです。

◆接種の概要について

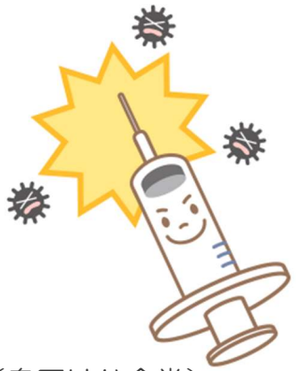
新型コロナウイルスのワクチン接種は、希望するすべての市民の皆様（ファイザー社製のワクチンについては、接種対象は 16 歳以上）が受けられます。

今後、個別通知（接種券含む）を発送されます。接種券がお手元に届いた方から、市（区）に予約をしていただき、ワクチン接種をうけることになります。

接種にあたり横浜市から個別通知を発送されます。個別通知は、発送後のコールセンターへの問い合わせや予約集中を避けるため、対象者ごとに発送時期をずらして通知を発送される予定です。

４月７日現在の新型コロナウイルスワクチンの高齢者接種の見通しはワクチン供給状況を考慮し、高齢者(令和 3 年度中に 65 歳以上になる方）向け接種にかかる個別通知が発送されます。

高齢者向け接種にかかる個別通知の発送時期		
発送時期	対象者	市内対象者数
４月下旬	80 歳以上	約 29 万人
※発送は２段階	75 歳以上	約 19 万人
５月中旬	70 歳以上	約 24 万人
※発送は２段階	65 歳以上	約 20 万人



◆接種手法・接種場所

接種方法は、①市が設置する特設会場で行う「集団接種」、（泉区は公会堂）
②身近な病院・診療所等で行う「個別接種」、
③高齢者施設で行う「施設接種」の３つの手法で実施予定

◆高齢者接種のワクチン供給状況と接種開始見通し

５、６月の国のワクチン供給情報をふまえ、5 月 17 日の週から集団接種を開始される予定です。

個別接種（病院及び診療所）は、医療従事者向け接種の進捗状況により、６月以降開始予定です。

（高齢者施設等での接種は４月 12 日から開始されています）

以上、横浜市ホームページから一部抜粋しまとめたものです。

いずみ診療所は戸塚病院と連携して実施予定ですが、数はかなり限られることや開始時期も遅れることが予想されますので、現状では集団接種をお勧めします。

【現在の状況】4 月 5 日の神奈川新聞の報道によりますと「県は新型コロナウイルスのワクチン2回接種済みの医療従事者は約2%となる約7400人と明らかにした。約30万人となる対象者全員の配送時期が具体的に示されておらず、県は医療従事者の接種完了の時期は見通せないとしている。」ということです。新型コロナウイルスの受け入れを行っている医療機関、発熱外来を行っている病院・診療所の医師や看護師をはじめとした医療従事者が優先されると思いますので、いずみ診療所では職員の接種が終わり、個別接種が開始できるのは現段階では見通しが立っていない状況です。

シリーズ　医療生協について　事務長闘病記その 14

お知らせしていた通り３月 22 日（月）に東海大学の移植外科に初めて通院しました。医師の受診の前に看護師による詳細な問診と今後の大まかな流れの説明があり、問診の中では「上司と職場に移植について説明をしているか」という内容が印象的でした。

移植にあたり ICU に２日間、その後の個室管理の１週間を含め１か月の入院、その後は週に１回、２か月間の通院の予定になりますが、その前の全身チェック等に時間がかかること、また、新型コロナウイルスの影響を受け手術のスケジュールは見通しが立っていないというのが現状ということです。

まず、第 1 段階として移植を実際に行うにはドナー(臓器提供者)とレシピエント（臓器提供を受ける私）は “心”の準備？精神科受診の３回が必要ということでした。精神科の受診は東海大学特有のものかもしれませんが、移植にあたり第３者（委員会）の意見が必須ということです。その第３者の意見を含め東海大学では精神科に受診することになるとのことでした。精神科では心理テストを含め３回の通院が予定されています。４月から精神科受診も行う予定ですので、また、特徴的なことがあれば紹介します。

また、ソーシャルワーカーとの面談も必須ということでした。今後の医療費や障がい者手帳の取得についての説明を受けることになっています。

今回の説明で印象に残っているデメリットの主な内容は以下のものです

①移植がうまくいっても１～２%は１年後に腎臓が働かなくなることがある
②免疫抑制剤を飲み続ける必要があり、飲み忘れは重大な事故につながる
③薬による副作用があり感染症が起こりやすく、
　糖尿病の治療が必要になる方も多い

デメリットはありますが、それでも透析はしなくてもよくなることは大きなメリットだと思います。

次回、４月 26 日に東海大学へ通院、平塚の病院への通院は５月です。

今後も血液データの話も交えてお知らせしていきたいと思っています。いつもあたたかな声をいただいています。ありがとうございます。